

プランクトン調査結果のお知らせ

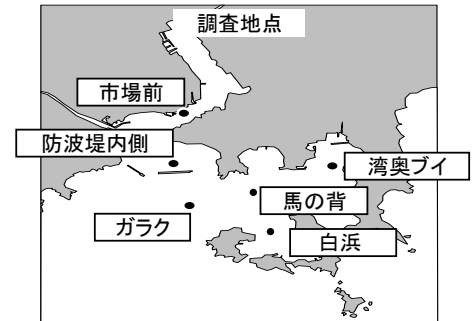
平成26年5月20日午前、野見・須崎湾の着色水域から採水し、プランクトン調査を行いましたので結果をお知らせします。

検鏡の結果、有害種のヘテロシグマ・アカシオが最高で16,150cells/ml、ケラチウム・フルカが最高で5cells/ml、カレニア・パピリオナセアが最高で2cells/ml確認されました。ヘテロシグマについては漁業被害が想定される細胞密度を超えた状態が継続しています。今回のサンプルは表層のみでしたが、今後天候が回復すると、深い所にいる赤潮原因種が浮上して増殖する可能性があります。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表 プランクトン(cells/ml)

		ヘテロシグマ・アカシオ	ケラチウム・フルカ	カレニア・パピリオナセア	珪藻類
湾奥ブイ付近 着色水域	0m	16,150	4	2	70
ガラク 着色水域	0m	3,390	5	0	205



漁業被害が想定される細胞密度

- ヘテロシグマ・アカシオ
10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)
- ケラチウム・フルカ:
100cells/ml(餌食いの悪化)
- カレニア・パピリオナセア: 赤潮発生時(へい死)

「プランクトン調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>